



あすなろ

東松島市立大曲小学校

学校教育目標『心もからだも健康で 明るく力いっぱい生きる 子どもを育てる』

頑張りました・・標語・作文コンクール 【定川をきれいにする標語コンクール】

平成27年度定川清流化啓発標語コンクールに、4年生が応募。総合的な学習で、ふるさと学習に励んでいる中で、定川にたいする思いや、自然環境を守ること、町をきれいにするなど、標語作りで表現しました。

コンクールでは、下記の4人が入賞しました。主催の東松島市役所環境課、定川関係者の方が、大曲小の取組に感心され、朝会においてになり、入賞者に賞状を渡してくれました。今年、カヌー体験や定川自然探索などでふるさと大曲を満喫した4年生の作品の一部を紹介します。日本語のリズムに乗った、心地よい言葉の響きから子どもたちの優しい気持ちが伝わってきます。これからも自然を愛する気持ちを大切にしてください。

最優秀賞 秋山 依吹

定川は みんなの川だ きれいにね

優秀賞 高橋 優奈

キラキラと かがやく定川 きれいだね

優秀賞 三浦 るい

ポイスで キレイな定川 よごれちゃう

優良賞 小野寺 璃子

川の水 大切にしよう いつまでも

山田楓	那須野羅楠	野村紗良	千葉陽斗	栗石未来	木村天	吉田翔和	吉田航大	新田利海	木村心	鹿又翔	大崎神威	生出真尋	伊藤さくら	阿部優羽	阿部桜子
-----	-------	------	------	------	-----	------	------	------	-----	-----	------	------	-------	------	------

川がきれいになれば しぜんゆたかな 東松島市	みんなの定川をみんなの力できれいにしよう	定川を きたなくしては いけないよ	定川にゴミをすててはいけないよ	定川は みんなきれいに つかおうね	定川や きれいにそうじ ゴミをゼロ	定川に ゴミを捨てるな 魚泣く	川の生き物 川の水 大切にしようね	川の生き物 川にはゴミを 悪いこと	かえり道 定川を見て いやされる	こころがければ きれいになるよ 定川は	虫とりすると しぜんかな	定川よ しぜんにかこまれ カヌーの日	定川をきれいにしたら みんなの心もピカピカ	定川にゴミ、石、土を入れちゃダメ	キラキラと かがやく定川 とりもどせ！	定川を きれいにしよう みんなでね
------------------------	----------------------	-------------------	-----------------	-------------------	-------------------	-----------------	-------------------	-------------------	------------------	---------------------	--------------	--------------------	-----------------------	------------------	---------------------	-------------------



石巻地区水道に関する作品コンクール

今年の石巻地区『水道に関する作品コンクール』で、大曲小より、2名が入賞しました。

【標語の部】 特選 5年 那須野 瑚琶
『安全な 水に流れる やさしい心』

【作文の部】 入選 2年 森屋 紗來

【とてもたいせつな水】

※右の写真は石巻水道企業団での表彰式の様子です。石巻市長さんと一緒に。



東京我流毛筆の会『書道体験』の報告から

先日、大曲小で書道体験教室を実施していただいた東京我流毛筆の会が、会員、支援者の方に発信している通信に『大曲小訪問記』が次のように紹介されています。子どもたちの様子が目に浮かびます。

10月1日 am 7:30 渋谷集合、三台の車に分乗し常磐道を一路石巻に向かう。13時半石巻着後、東松島市の大曲小学校を訪問。明日の会場となる体育館を見学。震災の折、打ち寄せた波の高さ1.9mを表示したプレートに接し、子供達を襲った自然の力の脅威を実感する。

奥松島の民宿「山根」に宿泊。此の日、爆弾低気圧が関東から東北地方を北上、たたきつけるような激しい雨足と突風に海岸沿いの宿で不安を覚える。

10月2日一夜明けて荒れた天候は嘘のように雲一つ無く澄んだ青空。am7:30 出発、大曲小学校に向かう。

8時会場の体育館にビニールシートを貼り書会の準備を開始するも、全校生徒の朝会があり、我々も手を休め朝会を見学。先生達の生活指導のお話、校長先生のローソクの炎を例に命の尊さを語ったお話を聞く。

いよいよ書会の始まり。最初は5年生の2クラス90分の書会。5年生ともなると子供達一人一人に個性があり、この子供達がどんな自分の文字を書くのかと期待が高まる。

今回の書会は3年生から6年生まで授業の一環としての書会。単に遊びでなく何かを得て欲しいと願う。子供達は屈託無く大きな筆で大きな紙に漢字一字を書く。見た目緊張などみじんも感じさせないのだが、後で聞いてみるととても緊張したと語る子供達。何枚も書きたいという子供達に囲まれて、あっという間に終了の時間となる。書いた作品を持って全員の集合写真を撮影、エネルギーが発散する素晴らしい記念写真となる。

次の3年4年生も同じく90分の書会。この年頃の1~2年の年齢差はその成長に大きく作用しており、5年生に比べて子供らしい幼さが残っており、このような子供達がどんな表現をするのがますます期待が高まる。最初、無表情で緊張の面持ちだった子供達は、慣れるに従って遊びの延長のような生き生きとした表情と声をあげ、体の力をふりしぼった元気一杯の書きっぷり。自分で書いた自分の字が信じられないといった新鮮な体験を面白がっていたように思う。

最後に6年生も90分の書会。さすが最上級生。漢字の持った意味をよくとらえてその意味を自分なりに表現しようと工夫する子。しっかりした自己表現。大曲小の子供達が震災の記憶を乗り越えてすくすくと育っているという実感は、胸を熱くするものがあった。朝8時半から午後3時半、休み間もない270分の書会が終了。

この日松島書道会の方々にお手伝いに参加していただき、大変助かり感謝する。後片付けの後、御茶をいただき長沼校長先生、坂本教頭先生との談笑。美しい夕焼けに包まれた大曲小学校においとます。

今年の書会も無事終えることができました。短い時間ではありましたが、いろんな子供達と接することができました。子供達の生み出す個性あふれる書に毎年のことながら新鮮な驚きと喜びを感じる事ができました。これも支援者の皆様方の御力添えがあってこそと深く感謝申し上げます。

今年の書道体験教室の様子や、大曲小の児童作品、大曲小の紹介については、来年三月、東京都・銀座、「立川ブラインド・ギャラリー」の展覧会で紹介されることになっていきます。詳細は追ってお知らせします。※写真は、先の体験教室での作品。会の方でプレゼント用の写真を準備中です。



大曲市民センターに行こう

今年度も本校では、社会教育推進事業の一環として、大曲まちづくり協議会、大曲市民センター等と連携した事業を行います。昨年、社会教育主事講習を受講した菅井秀成先生が市教育委員会の協力のもと、『大曲出前講座』を12月23日、1月17日の2回に渡り企画しました。親子で作るクリスマスオーナメント、フラワーアレンジメントを行います。参加者も決定し、今から開催の日を待ちわびる声が聞かれます。この事業は、石巻地区の地域教育資源活性化事業の一環として実施し、市のリーダーズバンク登録の地元の方が講師として教えてくれます。どんな作品ができるか楽しみですね。

また、1月5日には、大曲市民センターで『新春かきぞめ会』が行われます。今年の、書きぞめの課題を地域内の書道愛好家、本校教頭らが指導します。希望者は、市民センターからのチラシを御覧の上、センターに電話で申し込みください。地域の方が、書道のお手伝いをしたり、お雑煮をふるまったりしてくれることになっており、地域の方たちとの触れ合いも楽しめます。

